



「庄内地域議員協議会」が開催されました

庄内地域から選出された11名の県議会議員による、庄内地域の課題や庄内総合支庁が実施する事業の進捗状況の調査・審議を行う「庄内地域議員協議会」が、11月20日に庄内総合支庁講堂で開催されました。

始めに村山庄内総合支庁長が管内における経済情勢や主な施策の取り組み状況について説明し、その後の質疑では各議員から多岐にわたる質問や意見が出され、活発な協議会となりました。

いただいた意見等については、関係機関とも共有し、地域の活性化に向けた県の施策に反映するよう取り組んで参ります。



総務課 企画調整担当 ☎ 0235-66-5418

～主な審議内容～

- 若者の地元定着促進について
- 西目地区の土砂災害に対する対応について
- 庄内柿の振興策について
- 農林水産物に係る猛暑の影響について
- 庄内におけるインバウンドの状況について
- 不登校の現状と適応指導教室の状況について
- 山形県の道路中期計画の見直しについて
- 庄内空港の機能強化・利用活性化について
- クマの指定管理鳥獣への追加について
- クルーズ船の受入れについて など



庄内空港に4年ぶりの国際チャーター便！ 韓国から約170人のお客様をお迎え

アジアナ航空による韓国仁川国際空港と庄内空港を結ぶチャーター便が11月24日に運航され、庄内観光コンベンション協会を始め、県、管内市町の観光関係者が庄内空港で歓迎のおもてなしをしました。

庄内空港に到着した乗客は、ゆるキャラとの記念撮影や旅の安全を祈念する山伏の法螺貝を聴きながら、次々にツアーバスに乗車し観光地へ出発しました。複数のグループに分かれた乗客は、羽黒山、相馬樓、山居倉庫、本間美術館、最上川舟下りなどの県内観光を楽しみ27日に帰国しました。

今後もインバウンド推進に向けて、更なる取り組みを進めて参ります。

地域産業経済課 観光振興室 ☎ 0235-66-5726



庄内“冬”の観光キャンペーン

「アナタへおくる冬ものがたり」開幕しました！

庄内観光コンベンション協会では、庄内地域への冬の観光誘客のため、12月1日から翌年3月31日まで、『アナタへおくる冬ものがたり』キャンペーンを実施します。

キャンペーン期間中は、地域の冬の風物詩「寒鱈まつり」を巡りスタンプを集めて応募するプレゼント企画や新酒、雑など、庄内の魅力を存分にお楽しみいただける6つの企画を展開します。

また、それらの企画を1冊に詰め込んだ「アナタへおくる冬ものがたり」ハンドブックを発行しておりますので、ぜひハンドブックを手に、冬の始まりから春の訪れまでの“ものがたり”を楽しむように庄内のいろいろな冬に出逢ってください♪



『アナタへおくる冬ものがたり』ハンドブック

キャンペーン詳細は
こちら→



地域産業経済課 観光振興室 ☎ 0235-66-5492

庄内産とらふぐの季節到来！

「食の都庄内 天然とらふぐキャンペーン」今年も開催 3,000円分のお食事券を10名様にプレゼント！

毎年恒例となっている、庄内が誇るブランド魚「天然とらふぐ」のキャンペーンを今年も開催します。キャンペーン参加店で使える3,000円分のお食事券が抽選で10名様に当たりますので、奮ってご応募ください。

応募は簡単！3ステップ！

- ①キャンペーン参加店でふぐ料理を食べる。
- ②参加店でもらえる応募専用はがきかwebでアンケートに答える。
- ③お食事券が当たる！？

ご家族、お友達と一緒に、この時期だけの特別な、庄内のブランド魚を思う存分味わいましょう！



←詳しくはこちら

「食の都庄内 天然とらふぐキャンペーン」

キャンペーン期間：開催中～3月17日（日）

参加店舗：庄内の旅館・飲食店20店舗（鶴岡市15店、酒田市4店、遊佐町1店）



水産振興課 ☎ 0234-24-6045

令和5年度「里の名水・やまがた百選」に庄内の3湧水が選定！

「里の名水・やまがた百選」に庄内から3つの湧水が選定されました。いずれも、地域の生活や信仰の歴史などに思いを馳せることができる名水です。皆さま、ぜひ訪れてみてください。

こわしみず

①古和清水（鶴岡市湯温海）

温海岳の登山道にある湧水です。山頂までには、見応えのある3つの滝や美しいブナ林を見ることができ癒しの空間があります。



しんざんじんじゃ

②深山神社（遊佐町遊佐）

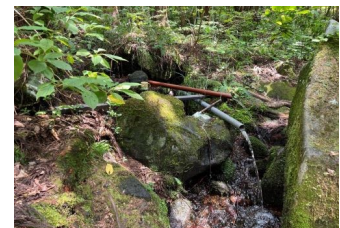
遊佐駅の北、月光川河畔にある深山神社境内の3か所から湧き出す湧水で、手水として利用されています。境内の樹齢600年の大榎群と合わせた景観は見事です。



やまのかみのみず

③山ノ神の水（遊佐町野沢）

鳥海山の麓・高瀬峡の入口に祀られた小さな祠近くにある湧水です。山の伏流水や雪解け水でできた滝や溪流を見ることができ、森林浴も楽しめます。



環境課 環境保全担当 ☎ 0235-66-4744

庄内産食材の魅力を首都圏へ発信

庄内柿を使ったオンライン料理レクチャーを開催



首都圏の料理教室講師に庄内産食材の魅力を知らせてもらおうと、10月19日に庄内柿のオンライン説明会を開催しました。

首都圏で料理教室を主宰する料理教室講師7名がオンラインで参加。「食の都庄内」親善大使である奥田政行氏が庄内柿のオリジナル料理の作り方をレクチャーしたほか、庄内柿生産者の宮崎広和氏が生産にまつわるエピソードを紹介しました。

また、会場では「食の都庄内」サポーター及び庄内地域の大学生が配信の様を見学し、庄内柿のオリジナル料理の試食を行いました。

オンライン説明会に参加した料理教室講師からは「庄内柿が新潟特産のおけさ柿のルーツだったことを知り、びっくり」「庄内柿でオリジナルサラダを作りたい」といった声が聞かれました。

11月には参加者それぞれの料理教室で庄内柿の魅力や料理レシピを紹介してもらっています。

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5490

大学生に庄内の食の魅力を発信

「旬の食材 味わいキッチン」庄内の秋の味覚体験学習会in遊佐を開催

庄内地域の大学生が庄内の「食」の魅力について理解を深めるイベント「旬の食材 味わいキッチン」を11月23日に開催しました。

当日は山形大学農学部と東北公益文科大学の学生12人が参加。遊佐町の鮭のふ化場や牛渡川での鮭の遡上を見学した後、農家レストランで干し柿を作り、庄内風芋煮を味わいました。

参加者からは「廃校を活用したカフェで料理を提供するサークルに入っている。今日の経験をメニュー開発に役立てたい」「鮭のふ化の様子を自分の目で初めて見た。関係者の皆さんの思いや苦勞がよく分かった」といった感想が聞かれました。

12月には「旬の食材 味わいキッチン」の第2弾として、東北公益文科大学の学生団体「Praxis（プラクシス）」と連携して郷土料理実習や庄内産食材を使ったメニュー開発を行います。



地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5490

秋の庄内の“食”を体感！ 見て・採って・食べて・好きになる♡



庄内の食材の豊かさを体感してもらう、2つのイベントを開催しました。

11月7日に「食の都庄内」サポーターを対象とした「食の都庄内」産地見学会を庄内町立谷沢地域で開催しました。亀の尾発祥の地の熊谷神社で亀の尾の歴史を学び、ヤマノイモの圃場とガッサーモンの養殖場を見学。最後に、北月山荘の食堂モン・ヴィペールにて、見学した食材を使った料理を味わいました。

11月11日には、小学3年生までの児童とその保護者を対象とした「里山の食の恵み親子体験教室」を鶴岡市越沢地区で開催し、温海かぶの収穫体験や在来作物「越沢三角そば」のそば打ち、越沢地区の棚田で採れた米を使った「棚田カレー」づくりを実施しました。

どちらのイベントでも、「知ってはいたけれど、間近に体感できて、もっと庄内の食材が好きになった」と感想をいただきました。

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5490

♪ 楽しかったね！「わくわく音楽会」♪♪♪

11月25日に、庄内地域の子育て支援を行う民間団体と庄内総合支庁、2市3町で構成する「庄内地域子育て応援協議会」は三川町テオトルにおいて、子育て家庭向けイベント「わくわく音楽会」を開催しました。



未就学児とその家族114名が参加し、子どもたちは、好きなアンパンマンやディズニーなどの曲に合わせ、手を叩いたり、踊ったりと思い思いに酒田吹奏楽団の演奏を楽しみました。また、曲あてクイズや演奏後の楽器の触れ合い体験も行い、家族で素敵な時間を過ごしました。

当協議会では、今後もさまざまな事業を通して、庄内地域での子育てを支援する環境づくりを推進していきます。

子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当 ☎ 0235-66-2104

「在宅における食支援フォーラム庄内2023」を開催

～「美味しく口から食べる」支援のために～

高齢化の進む庄内地域には、加齢に伴う病気や障がい、その後遺症などで、口から食べることが難しい方が多くいらっしゃいます。このフォーラムは、そのような方々に対し、様々な医療関係者や介護関係者が一緒になって、口から食べることを支援していく「食支援」の活動強化のために開催したものです。

今回は、京都市内で「食のバリアフリー化」に取り組まれている荒金英樹先生（愛生会山科病院）をお招きし、先進的な取り組みをご紹介いただいた他、庄内地域や県内外で「食支援」の活動を行っている団体からも活動報告をしていただきました。

「食支援」について、先進的な取り組みや大事なポイントなどを学ぶ、大変有意義なフォーラムとなりました。



保健企画課 健康増進担当 ☎ 0235-66-5476

ICT活用工事研修会の開催

ICT(情報通信技術)を活用する工事にチャレンジ！

10月27日、庄内総合支庁と建設業協会・測量設計業協会は、共催でICT活用工事研修会を開催しました。対象は建設業関係者などで、100人超が参加しました。

建設業は就業者の減少が深刻で、人手不足を補うためDX（デジタルトランスフォーメーション）に対応した効率的な現場の取り組みが重要視されています。しかし、技術面、設備面等でハードルが高いというイメージがあり、中小企業にまでは普及が進んでいない現状です。

午前中の座学の後、午後は現場に移動し、小規模工事でも手軽に扱えるICT機器の実演体験会を5ブースに分けて行いました。実演体験会では、ICT機器メーカー担当者を招いて3D設計CADやタブレット端末、ドローン等を活用した最新の技術を披露していただきました。

参加者からは「分かりやすく、ぜひICT活用工事に取り組みたい」などの声が聞かれ大好評でした。

なお、この様子はYBCの「サンデー5」でも取り上げられました。建設総務課 事業調整担当 ☎ 0235-66-5569



食品ロスを減らそう！

庄内総合支庁舎でフードドライブ実施

御協力ありがとうございました！



10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、10月25日から26日までの2日間、庄内総合支庁舎においてフードドライブを行いました。フードドライブとは、家庭で使いきれない食品を持ち寄り、フードバンク団体を通して食の支援を必要とする方に提供する活動で、食品ロス削減にもつながります。

県民の皆様のご厚意により、2日間でお米や乾麺、レトルト食品、缶詰、ジュース等合計314点、約142kgの食品が集まりました。ご協力いただきありがとうございました。

集まった食品は「NPO法人ぼらんたす」に贈呈させていただきました。同法人では子ども食堂やフードパントリーの活動を通して、食の支援を必要とするご家庭に提供するそうです。

日本の食品ロス量は年間523万トン。一人当たりお茶碗1杯分の食品を毎日捨てていることとなります。みなさんも食品ロス削減のためにできることを考えてみませんか？

環境課 廃棄物・海岸漂着物担当 ☎ 0235-66-4914

新作動画公開のお知らせ！ 揚水機場で“わくわく川遊び”



農村計画課 計画調整担当 ☎ 0235-66-5549

動画シリーズ【農村なう!】では「より面白く、より親しみやすく」をコンセプトに、若手職員のあべちゃんなべちゃんの体当たり取材による動画を公開しています。

今回は、笹川土地改良区が開催した「わくわく川遊び」を紹介。会場となった揚水機場は農業に欠かせない農業用水を供給している施設ですが、この日ばかりは子どもたちの遊び場に一変！手作りイカダやプールを目の前に大はしゃぎでした。

農業用水の安定供給のため日々奮闘する笹川土地改良区ですが、教育分野とも連携し、水に親しみながら環境に関心を持ってもらうための活動にも取り組んでいます。ぜひご覧ください。

詳細はこちら→



お知らせコーナー

庁内お役立ち情報 ～売店をご紹介します～

庄内総合支庁の東庁舎1階にある売店では、日替わり弁当や手軽に食べられるパン・おにぎりのほか、淹れたてのコーヒーが飲める自動販売機もあります。また、便利なサービスとして、切手や県証紙の販売、特製仕出し弁当や車検の予約なども受付しています。お気軽に立ち寄りください。

○営業時間 午前8時15分から午後5時45分まで

総務課 職員係 ☎ 0235-66-5564



庄内観光物産館名物
「磯おにぎり」

12月は納税推進強調月間！

12月は「納税推進強調月間」として、県と市町村が連携して県・市町村税の自主納税推進に取り組みます。

県では、キャッシュレス決済などの電子納付を順次拡大し、県民の皆様が納税しやすい環境の整備を進めています。また、自動車税のように毎年決まった時期に納める税について、自動で口座から引き落としされる口座振替をお勧めしています。

県・市町村税は地方団体の貴重な自主財源として、身近な暮らしに役立てられています。皆様のご協力をお願いします。詳しくは、税務課又は市町担当課までお問合せください。

税務課 ☎ 0235-66-5436

釣り中の転落事故に注意！

山形県が管理している漁港では、毎年のように転落事故が発生しています。今年も11月末までに3件発生し、うち1件は死亡事故となっています。転落場所はいずれも、滑りやすい防波堤や消波ブロックです。

山形県では、転倒・転落の恐れがあることから防波堤等を立入禁止にしています。

釣りは、立入禁止の区域では行わず、安全な場所で行ってください。



水産振興課 漁港整備担当 ☎ 0234-24-6044

死亡野鳥を見つけたら

野外で複数の野鳥が同一場所で死亡しているなど、不自然な死に方の野鳥を発見した場合は、総合支庁環境課にご連絡ください。必要に応じて鳥インフルエンザの調査を実施します。

鳥インフルエンザウイルスは、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、野生動物の排せつ物等に触れた後には、手洗いとうがいをいただければ過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。



山形県HPをご覧ください→



環境課 環境企画・自然環境担当 ☎ 0235-66-4744

吹雪で動けなくなったときは

これからの本格的な冬の到来にあたり、深夜・早朝にわたる除雪作業を行い、適切な交通の確保に努めて参ります。地吹雪等により避難される際、適切な除雪作業及び救助活動の妨げにならないよう、皆さんには次の対応をお願いいたします。



- 車の所有者が分かるように連絡先などを書いたメモを車内の見やすいところに置きましょう。
- 車の鍵はつけたままにしておきましょう。

道路計画課 維持管理担当 ☎ 0235-66-5617

雪下ろし・除雪作業中の事故に注意!!

例年、雪下ろしや除雪作業中の事故が発生し、多くの方が被害に遭われています。昨年度の庄内地域における雪害事故件数は9件で、中でも除雪時の転倒、転落、落雪及び除雪機による被害が9割を占めています。

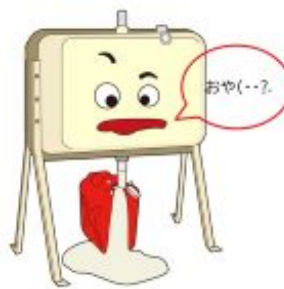
「自分は慣れているから大丈夫」とは、事故にあわれた方も思っていたことです。

雪下ろしが必要な場合は、業者への依頼も検討しましょう。



総務課 防災安全室 ☎ 0235-66-4791

ホームタンクからの油流出にご注意を!



灯油の使用が増える冬場は、ホームタンクからの油漏れ事故が多発します。油の流出事故を起こすと、漏れた油の処理費用は流出させた方の負担となります。

灯油の小分け中はその場を離れないようお願いします。

また、もし油漏れを見つけたら、消防、警察、市役所・町役場や総合支庁にご連絡ください。

環境課 環境保全担当 ☎ 0235-66-4744



道路除雪 求人募集 あなたの力が必要です

冬期間の円滑な道路交通を確保するため、建設会社において除雪作業を行っています。

除雪作業に従事する人が減っており、大変困っています。あなたの力を貸してください！特別な免許等が無くても活躍できますので、まずは下記の問い合わせ先までお電話ください。

《問い合わせ先 (午前9時～午後5時 土日祝日を除く)》

山形県建設業協会 鶴岡支部0235-22-2364

酒田支部0234-33-0702

道路計画課 維持管理担当 0235-66-3016

